

## 「栄養ワンダー2018」実施報告 事例集

### <期間>

平成 30 年 6 月 23 日(土)～9 日 7 日(金)

### <活動先>

医療施設、介護福祉施設、事業所の給食施設、管理栄養士・栄養士養成校、行政および小・中学校を中心に 1,296 カ所（うち管理栄養士・栄養士養成施設 85 校）

### <対象>

全国 214,174 人

### <参加した管理栄養士・栄養士>

5,544 人

本事例集は、上記活動先から一部をご紹介します。

都道府県栄養士会 編

栄養の 

たのしく食べる、カラダよろこぶ

8/4 栄養の日 8/1→7 栄養週間

公益社団法人日本栄養士会

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【8月4日は栄養の日<栄養ワンダー2018>】高知県栄養士会法人化30周年記念事業 テーマ：子どもから高齢者まで各年代に応じた「栄養の楽しみ方」を伝え、栄養により 親しんでもらうことを目的に記念イベントを開催		
実施日・時間	2018年8月4日 10:00～16:00		
実施場所	オーテピア4階 ホール、研修室、集会室		
対象者	県民		
対象者数	750人		
主催者人数	管理栄養士 40人／栄養士 2人 その他（オーテピア高知図書館司書 2人）		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客力を高めるため新規(7/24)オープンの会場（県・市図書館が入った複合施設）を選定</li> <li>・図書館とコラボし、栄養・食に関する図書コーナーを設置</li> <li>・若い世代や働きざかり世代に参加してもらうため、高知市内全小学校の児童（家庭）にチラシを配布</li> <li>・啓発用「栄養の日」マグネットを作成</li> </ul>		
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 栄養士会提供資材の活用（<input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ）</li> <li>■ 自施設のホームページ</li> <li>■ 独自に作成（<input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））</li> </ul>		
当日の流れ	<p>1 スタンプラリー形式で9つのブースを体験（10:00～16:00 研修室・集会室）</p> <p>①クイズ「高知家の食生活は？」②栄養チェック「あなたの食事は星いくつ？」 ③食育キッズコーナー「土佐弁栄養かるた」「紙芝居」 ④美ボディを追求☆あなたのダイエット正します！⑤高齢者にやさしい食事とは ⑥生活習慣病を予防する食事と栄養 ⑦栄養相談コーナー ⑧JDA-DAT（災害）コーナー ⑨栄養・食に関する図書コーナー</p> <p>2 講演会（14:00～15:30 ホール）</p> <p>①講演「キッチンからはじまる家族の絆」講師：コウケンテツ ②高知県栄養士会30年のあゆみ紹介 ③栄養ワンダー「栄養の日」の紹介</p>		
イベントを通じて得られた効果	幼児連れから高齢者まで多くの参加者に、展示やクイズ、食育SATシステムによる栄養チェック、試食、相談、講演などを通じて栄養・食生活への関心を深めてもらった。行列のできるブースや、家族で栄養チェック結果を話し合う姿も見られ、関心の高さが伺えた。		
エピソード（対 対象者）	本イベントを知らずにオーテピア図書館に来て、入口看板や館内アナウンスで知り、立ち寄ってくれた家族連れも多かった。		
エピソード（対 主催側）	スタンプラリーのおみやげが足りなくなり、急遽追加するなど慌てたが大盛況だった。各ブースの担当は職域事業部毎に分担していたが、他の職域会員が応援に入るなど職域の枠を超えた連携に繋がった。		
イベント後の新たな取り組み	スタッフとなった会員は統一したロゴ入りポロシャツを着用した。以降、他の栄養士会活動にも着用する会員が増えた。		
所属職域	全職域事業部		
実施主体	公益社団法人高知県栄養士会	所在地	高知市丸ノ内 1-7-45 総合あんしんセンター
電話番号	088-872-9411	担当者	会長 森田陽子

「栄養ワンダー2018」 実施報告



啓発用マグネット



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養ワンダー2018 in 青森】 テーマ：県民に「栄養の日・栄養週間」のイベントを通して栄養と食の重要性を周知する。
実施日・時間	2018年8月4日 11:00～15:00
実施場所	(株) マエダガーラモール店 (青森市三好2-3-19)
対象者	不特定の来場者 (地域住民)
対象者数	200人
主催者人数	管理栄養士 9人 / 栄養士 3人 その他 (店舗スタッフ 2人)
事前準備	県内最大のねぶた祭と日程が重なったこともあり、栄養の日を広く周知するために、地元のショッピングモールで行い、開催店舗と時間、場所、冷蔵庫他の備品借用についての綿密な打ち合わせを行った。
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 ( <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 ( <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 ( )
当日の流れ	10:00 スタッフ集合、会場準備、配布物準備 11:00 イベント開催 14:00 後片付け ※予定は15時までだったが、配布物がなくなったので早めに終了。
イベントを通じて得られた効果	イベント来場者にはヨーグルト試食の合間に「栄養の日・栄養週間」の話題から始まり、日頃の食生活や栄養についての相談を受けた。その際栄養士の日頃の活動紹介も出来た。
エピソード (対 対象者)	土曜日のためか家族連れが多かったが、午後になるとねぶた期間中のこともあり、来場者の出足が鈍くなった。
エピソード (対 主催側)	来場者は試食をしながら和やかな雰囲気ですぐに食生活(栄養)についての質問や相談をしていた。試食後に「このヨーグルトは会場の食品売り場にありますか」と問われ、現場で確認し販売していることを伝えた。
イベント後の新たな取り組み	昨年は対象者1人当たりの対応時間が思うように取れなかったが、今年は時間をかけることができた。次回はより多くの地域住民に多方面で働く栄養士の活動を周知するためのアイデアを模索中。
次期実施者へのメッセージ	開催日時と場所を決める段階で、イベントの概要を決めておいたほうが次の準備にとりかかりやすいと考える。
所属職域	(公社) 青森県栄養士会 地域活動職域会



「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【「栄養の日」2018in 島原】 テーマ：楽しく学ぼうみんなの食育
実施日・時間	2018年8月4日（土） 10：00～15：00
実施場所	島原市有明総合文化会館（グリーンウエーブ）
対象者	一般の方
対象者数	総計 123人
主催者人数	管理栄養士 43人／栄養士 3人
事前準備	参加者に楽しみながら学んでいただけるように、展示ブースを参加型の内容で企画した。 サンプリングの品が要冷蔵で前日到着だったので、会場には冷蔵庫がなく食品を別施設で冷蔵し当日会場まで輸送し、会場でも保冷容器などの準備などに量も多く苦慮した。
周知方法	■栄養士会提供資材の活用（■ポスター ■チラシ ■ホームページ） □自施設のホームページ ■独自に作成（■ポスター ■チラシ ■その他（新聞記事））
当日の流れ	1. 食育展示イベント（10：00～15：00） 各年代別食育パネル展示、豆つかみ、食育かるた、食育クイズ、ゆるきゃら“しまばらん”と一緒にしまばら体操 2. 県民公開講座 午前の部 10：40～11：40 講演「安全な野菜づくりの現状」 田中農園 田中孝様 午後の部 13：30～14：30 講演「健康と生活習慣」 長崎県島原病院 院長 徳永能治先生 3. 販売（10：00～15：00） 地元の業者9店に出店をお願いし販売していただく。 地元特産品やこだわりの加工品など。
イベントを通じて得られた効果	イベント終了後のアンケート集計結果より、改めて自身の日々の食生活を顧みるよい機会になっておられ、今後の食生活を考えていただけるような積極的な姿勢が読み取れた。“楽しみながら栄養を学ぶきっかけにつながるように”と、企画したこのイベントの目的は達成できたものと思われる。
エピソード （対 対象者）	対象者の方より、「このような良いイベントは年に複数回実施していただきたい。」また、「次回もぜひ参加したい。」との感想をいただいた。展示ブースの中でも参加者の笑顔が随所にみられ、主催側も自然に笑顔になり、対象者のみならず主催側も楽しみながら取り組むことができた。
エピソード （対 主催側）	事前準備の段階では、対象者の方々に楽しんで学んでもらえるようにと試行錯誤の日々だったが、当日は、「対象者の方々と一緒に楽しんだ」との感想も多く聞かれ会員間の連携が深まり、その後の事業の取り組みにも良い変化が見られた。
イベント後の新たな取り組み	次年度も長崎県栄養士会主催で、「栄養の日」事業を開催予定である。



「栄養ワンダー2018」実施報告

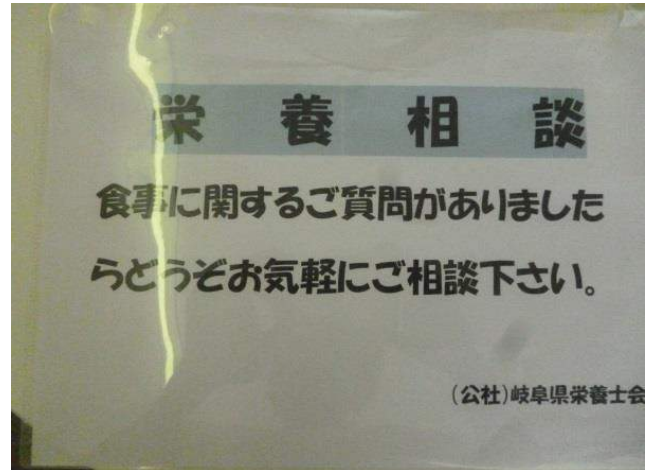
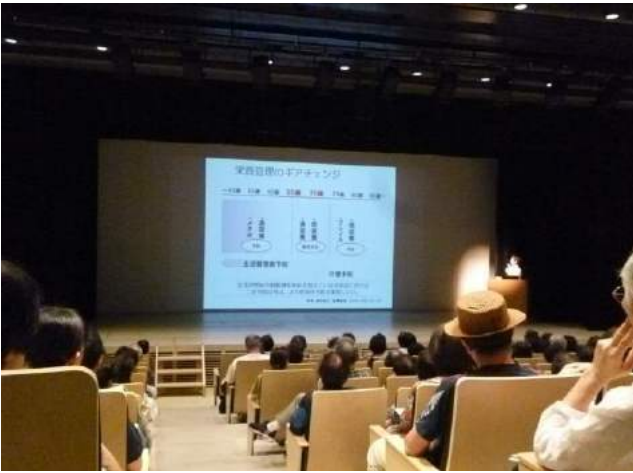
次期実施者へのメッセージ	「栄養ワンダー2018」事業を開催する事は、対象者のみならず、主催側にとっても有意義なものとなるので、次年度もぜひ積極的に実施してもらいたいと思います。		
所属職域	全職域		
実施主体	公益社団法人長崎県栄養士会	所在地	長崎県長崎市大黒町3番1号 交通産業ビル5階
電話番号	095-822-0932	担当者	松下 聖子







「栄養ワンダー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養ワンダー2018】 テーマ：クイズなどに参加して栄養の働きについておいしく楽しく学んで健康力アップ)
実施日・時間	2018年8月4日 10:30~15:30
実施場所	鳥取県立未来中心
対象者	一般県民
対象者数	105人
主催者人数	管理栄養士 8人
事前準備	賛助会員と一緒に健康チェック、アプリを使った献立作成等を体験してもらい、また配布食品を参考に栄養について情報提供。アレルギーの注意について確認。
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資料の活用 ( <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 ( <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 (                      ) )
当日の流れ	9:30 集合、確認、会場設営 10:30 イベント開催 15:30 サンプル配布終了にて撤収
イベントを通じて得られた効果	日頃、アクセスのない幼児、学童を連れた親子にイベントを通じて栄養、栄養士(会)の事を知っていただくことができた
エピソード (対 対象者)	子ども達が嬉しそうに食べ物のお絵かきをしている姿を見て、うちの子もこんなことが出来るんだと感激を驚きで嬉しそうなお母さんの微笑ましい姿が印象的でした
エピソード (対 主催側)	普段経験をしたことがない、サンプル品の配布を含んだイベント開催で、これまで以上に一般のひと達との距離感がかなり縮まったことを感じた
次期実施者へのメッセージ	夏休みで家族連れの多い季節の為、子供向け、親子向けの媒体を使って計画してはどうか
所属職域	医療

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【2018 栄養の日】 テーマ：食でつなごう熊本の元気 栄養フェスティバル
実施日・時間	2018年8月5日 9:00～15:00
実施場所	イオン熊本中央店
対象者	一般県民
対象者数	総計 616人
主催者人数	会員29人 その他（賛助会11人）
事前準備	広報活動 ポスター、チラシ、配布ティッシュ 各地域・職域配布 1週間前に開催店にてチラシ、ポケットティッシュ配布 会場近郊保育園・幼稚園・区役所・街づくりセンターへチラシ配布
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 栄養士会提供資材の活用（<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ）</li> <li>■ 自施設のホームページ</li> <li>■ 独自に作成（<input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（                    ）</li> </ul>
当日の流れ	<p>8:00 集合・物品搬入 会場設営</p> <p>9:00 開始（パネルシアター以外は常時開設）</p> <p>11:00 食育パネルシアター（1回目）</p> <p>14:00 食育パネルシアター（2回目）</p> <p>15:00 終了・搬入</p>
イベントを通じて得られた効果	SATシステム、体組成測定、骨密度測定等の希望者が多く、告知の効果があった。 測定から栄養指導の流れができ、ゆっくりと話をする時間がもてた。 賛助会と会員との連帯感がより、深まった。
次期実施者へのメッセージ	昨年、今年とイベントを中心とした栄養の日を、実施してきましたがこれからは講演会を入れ込んだり、違った趣向も考えて行きたい。



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養ワンダー2018 in おかやま】 テーマ：楽しく食べるカラダよろこび		
実施日・時間	2018年8月26日 10:00～15:00		
実施場所	JR 岡山駅南地下通路		
対象者	岡山県下全域住民、旅行者他		
対象者数	500人		
主催者人数	管理栄養士 30人		
事前準備	協賛品の保管および当日会場までの運搬について		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 ( <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ ) <input checked="" type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 ( <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 (                      ) )		
当日の流れ	9:00 会場設営・準備 10:00 イベント開始 15:00 イベント終了・片付け・撤収		
イベントを通じて得られた効果	岡山県下全域の住民を対象としたが、県南開催であったためか、県北でも同じような内容でイベント開催をとの要請があり、数か所で同じ機材、媒体を用いて実施。岡山県栄養士会での栄養ワンダーの取組内容が県内のいろいろな場所に広がった。		
エピソード (対 対象者)	ご自身の健康や食事に関して興味を持たれている方が多く参加された。骨塩量測定のブースでは、長蛇の列ができていたが、「待つても測定したい。」といわれる方が数多くいらした。また、測定結果が良好であった方が、ご自身の生活の留意点をスタッフに話かけをして下さる場面もみられた。		
エピソード (対 主催側)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・骨密度計の記録用紙の交換がうまくいかず、後半は手書きとなった。</li> <li>・午後からは、西日本豪雨災害の募金活動の団体と一緒に、大声でアナウンスをしなければならず大変だった。</li> </ul>		
イベント後の新たな取り組み	県下数か所で同じ機材、媒体を用いて実施した。		
実施主体	(公社)岡山県栄養士会	所在地	岡山市中区古京町 1-1-17
電話番号	086-273-6610	担当者	石井 優子

「栄養ワンダー2018」実施報告

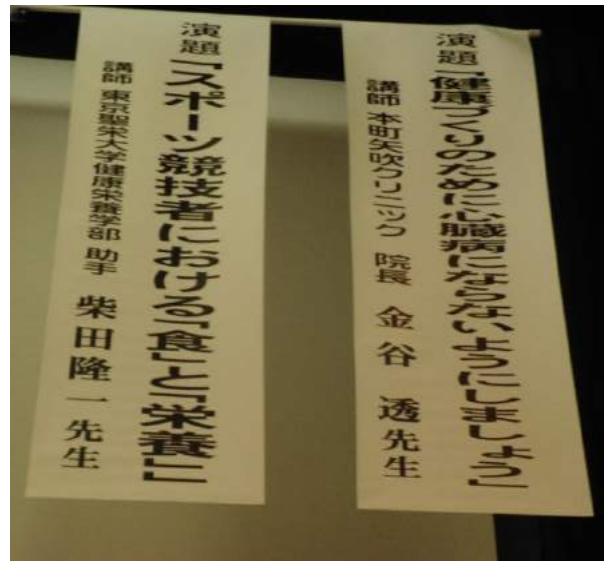


「栄養ワンダー2018」実施報告書

イベント名	【身体づくりのためのスポーツ栄養セミナー：栄養の日記念事業】 テーマ（目的）：望ましい食生活を中心に効果的な身体づくりを目的とする。		
実施日・時間	2018年8月4日 13:00～14:15		
実施場所	山形市ビッグウイング 2階 大会議室		
対象者	学生 一般県民 小学校・中学校・高校の教員及び保護者 県内スポーツ関連団体 医師会・歯科医師会 薬剤師 歯科衛生士 OT/PT/ST 他		
対象者数	400人		
主催者人数	管理栄養士（理事）18人、その他（協賛関係者 5人）		
事前準備	県内全域に周知するために地元新聞掲載依頼 県内小中高への参加要請：県教育庁承認 県はじめ医師会・職能団体へ後援依頼 県体育協会より情報を得て県内団体へ周知活動。		
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ）		
当日の流れ	午前中は、資料と提供商品の袋詰め作業 12:15 受付 13:00 開会 13:10 講演① 本町矢吹クリニック 金谷透 先生 14:20 栄養ワンダーに関する提供商品説明（ヨーグルト試食） 14:35 講演② 東京聖栄大学 柴田隆一 先生 15:35 栄養相談		
イベントを通じて得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内のスポーツ関係団体への周知活動により、スポーツ栄養に関する講師派遣依頼増加</li> <li>・県体育協会等とのネットワークにより関係団体の連絡先を把握でき連携を促進できた。</li> <li>・県出身の国会議員や県議会議員まで情報が届き、会の活動 PR になったこと。</li> </ul>		
エピソード （対 対象者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ関係団体の事務局でのこれまでのスポーツ栄養に対する活動は、他県の大学や食品企業から講師派遣をしていた。今後は、地元の養成大学や栄養士会に問い合わせできるきっかけができたこと。直接、電話相談で聞けるのは助かる。</li> </ul>		
エピソード （対 主催側）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県内と関係団体（医師会・歯科医師会・薬剤師会・歯科衛生士会・理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会・食生活改善推進協議会）に対し、後援依頼をしたことにより、他団体からの依頼のほか、事業案内が来るようになったことで、連携活動に繋がっている。</li> </ul>		
イベント後の新たな取り組み	関係団体からの講師派遣依頼：小中高より、スポーツ栄養に関する講演講師依頼。 県との連携：県発信のスポーツ関連組織への入会と、イベントへの参加協力の要請有。		
次期実施者へのメッセージ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前の案内の周知拡大 ・マスコミ取材の事前対応を綿密にすることでその後の記事掲載になっていく。まずは、活動内容を広く知ってもらうことで会の活動が重要視される。</li> </ul>		
所属職域	地域活動が中心となり、他全職域会員の協力		
実施主体	山形県栄養士会理事会役員	所在地	山形市小白川町 4-32-7-301
電話番号	023-633-4727	担当者	栄養士会事務局 会長 西村 恵美子



# 「栄養ワンダー2018」実施報告書



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養健康フォーラム】 テーマ：栄養の日 PR の為のイベント
実施日・時間	2018年8月4日 14:30～16:30
実施場所	前橋テルサ
対象者	一般県民
対象者数	329人
主催者人数	管理栄養士19人／栄養士 1人
事前準備	参加者確保の為に、部や地域栄養士会に広報活動費を支給することにした。 (参加者の人数に応じて職域部や地区栄養士会に支給した)
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 ( <input type="checkbox"/> ポスター ■ チラシ ■ ホームページ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 ( <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他 ( )
当日の流れ	14:30 栄養健康フォーラム 16:05 栄養ワンダー
イベントを通じて得られた効果	栄養の日に実施したので、8月4日は「栄養の日」だという事を周知できた。
エピソード (対 対象者)	参加者から「キウイフルーツは苦手だったが、ゼスプリのキウイフルーツは美味しくて食べる事ができた。」と後日電話があった。
イベント後の新たな取り組み	来年度も栄養の日に合わせて実施する予定。
次期実施者へのメッセージ	提供品の衛生的かつ安全な保管場所を確保する事や配布方法には配慮が必要。
所属職域	会長・・・研究教育所属 事務局・・・地域活動

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栃木県真岡市大前神社お宝骨董市での啓蒙活動】 テーマ：体脂肪測定・栄養相談
実施日・時間	2018年8月12日 9:00～16:00
実施場所	栃木県真岡市東郷937 大前神社
対象者	毎月第2日曜日に開催されている大前神社お宝骨董市に訪れる方（県内、県外あり）
対象者数	400人
主催者人数	管理栄養士 9人／栄養士 6人
事前準備	夏場野外でのイベントでしたので、ヨーグルトの提供はとりやめ、前日に到着したキウイフルーツなど低温貯蔵庫で保管をし、皆様に提供しました。
周知方法	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input checked="" type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））
当日の流れ	9:00 栄養ワンダー開始と同時に境内の人々に栄養ワンダーの主旨説明しながらサンプリング提供と体脂肪測定をすすめる。 11:00 サンプリング配布終了。それ以降は体脂肪測定・栄養相談等を終了まで続ける 16:00 終了
イベントを通じて得られた効果	栄養ワンダーのイベントを通して、バランスの良い食事について広く周知ができた。 栃木県栄養士会地域活動協議会、栃木県栄養士会県東支部と共同開催の為、同じ栄養士としての仲間意識を持つことができた。
エピソード （対 対象者）	妊娠中の奥様とご一緒の旦那様は、健診で中性脂肪が多かったこと、パパになるので健康に気を付けたいと話してくれました。健診結果に対する食事のアドバイスを真剣に聞いてくれました。
エピソード （対 主催側）	神社境内のブースを無償で提供していただいています。たいへん協力的で感謝しております。
所属職域	（公社）栃木県栄養士会地域活動協議会・（公社）栃木県栄養士会県東支部



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養の日 公開講座】 テーマ：健康寿命延伸のための生活習慣と食事		
実施日・時間	2018年8月2日 12:00～16:00		
実施場所	三重県医師会館 健康教育室		
対象者	三重県民		
対象者数	93人		
主催者人数	管理栄養士 15人		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布資料の作成、袋詰め</li> <li>・キウイ・ヨーグルトの保冷管理</li> </ul>		
周知方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 栄養士会提供資料の活用（■ ポスター ■ チラシ ■ ホームページ）</li> <li>■ 自施設のホームページ</li> <li>■ 独自に作成（□ ポスター ■ チラシ ■ その他（津市広報に掲載））</li> </ul>		
当日の流れ	<p>12:00 受付 資料とサンプリング品配布</p> <p>12:00 栄養指導 個人相談、体組成測定、血管年齢測定、タッチパネル食事診断</p> <p>13:30 管理栄養士講演「健康は毎日の食事から」管理栄養士 岡本良子</p> <p>14:30 医師講演「心臓病とどう向き合うか」医師 大西勝也</p> <p>15:30 栄養指導 個人相談、体組成測定、血管年齢測定、タッチパネル食事診断</p>		
イベントを通じて得られた効果	心臓病の方の参加も多く「講演を聞いて心不全や不整脈などの理解できた」、「明日から食事に活かせる」との感想があり栄養指導は全員が受けていた。サンプリング品も含めて栄養を身近に感じてもらった。		
エピソード (対 対象者)	質問の時間を取ったことで質問ができて良かった。新設に応えてもらってよくわかった。個別の栄養相談は役立った。サンプルの栄養の説明はわかりやすかった。		
エピソード (対 主催側)	講演のテーマは医師と栄養士の講演が2題の組み合わせが良かった。サンプリング商品（ヨーグルト、キウイ、野菜ジュース）の組み合わせが良かった。		
イベント後の新たな取り組み	三重県栄養士会の公開講座を増やした。		
次期実施者へのメッセージ	好評なので三重県内の実施場所を3カ所程度に増やしたい。		
所属職域	公益社団法人 三重県栄養士会 全職域		
実施主体	公益社団法人三重県栄養士会	所在地	三重県津市柳山津興 655-12
電話番号	059-224-4519	担当者	中野芳恵

「栄養ワーカー2018」実施報告



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【栄養の日講演会】 テーマ：伸ばそう健康寿命		
実施日・時間	2018年7月28日 13:15~16:15		
実施場所	大通公園ビル9階		
対象者	一般住民		
対象者数	53人		
主催者人数	管理栄養士 6人、その他（事務員 1人）		
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター ■ チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input checked="" type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター ■ チラシ <input type="checkbox"/> その他（                      ））		
当日の流れ	13:15 栄養の日について（管理栄養士プレゼン） 13:30 伸ばそう健康寿命―骨と筋肉を鍛えて骨折・寝たきり防止― 14:45 「ロコモティブシンドロームの対策と予防運動」 16:15 閉会		
イベントを通じて得られた効果	食事と運動の重要性を感じてもらえた。教わった内容を毎日行いたいというお声をたくさんいただいた。		
エピソード （対 対象者）	20代から80代までの幅広い年齢層の皆様にご参加いただきました。講話だけではなく、骨密度検査や身体機能テストを行い、運動方法について具体的に体を動かして行ったので、すぐ実践できると評価をいただいた。		
実施主体	北海道栄養士会	所在地	札幌市中央区南1西5-20
電話番号	011-251-7071	担当者	鈴木 敬子



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【 栄養ワンダー2018 in 石川～たのしく食べるを学ぼう！～ 】
実施日・時間	平成 30 年 8 月 3 日（金） 10：00～14：00
実施場所	イオンモール新小松 3 階白山テラス
対象者	一般市民
対象者数	407 人
主催者人数	管理栄養士 13 人 / 栄養士 1 人 その他（歯科衛生士 1 人）
事前準備	・実施場所（イオンモール新小松）との当日のスケジュール打ち合わせ ・独自ポスター作製
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（                      ）
当日の流れ	8：00 準備（会場設営・資料） 10：00 イベント開始 14：00 イベント終了（片付け）
イベントを通じて得られた効果	地域住民にイベントを通じて「栄養と食」の重要性をアピールできた
エピソード （対 対象者）	InBody（体組成測定）の人気があり、自分の身体の状況を知ることによって食生活と運動が大切であると理解した人が多かった。
エピソード （対 主催側）	地域の方と交流することにより「栄養と食」の専門職としての責任を強く自重するイベントだった。
イベント後の新たな取り組み	・管理栄養士、栄養士の知識と技術の向上を図るための研修の充実 ・他職種連携により健康情報の交換
次期実施者へのメッセージ	広く国民に向けて、管理栄養士・栄養士の業務をアピールし、地域社会にとってなくてはならない存在になりましょう。

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	<p><b>【あなたは知ってる？こんなところにいる管理栄養士・栄養士！】</b></p> <p>テーマ：来場者に職域別の仕事紹介ポスターを見てもらい、「知ってる」「知らない」シートにシールを貼って参加してもらう。ここでどんなことをしているか説明し、どんなところでどんな仕事をしているかを広く周知する。</p>
実施日・時間	2018年8月25日 9:00～12:00
実施場所	道の駅 キララ多伎
対象者	一般：道の駅 キララ多伎に立ち寄った一般の人
対象者数	総計 250人
主催者人数	管理栄養士 16人／栄養士 2人、その他（島根県立大学教員）
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配布用ヨーグルトは事前に冷凍したものを配布することで、衛生管理に配慮した</li> <li>・シールを貼ってもらうことで楽しく参加できるよう工夫した</li> </ul>
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（会員用開催案内）
当日の流れ	<p>9:00 パネル・机・イス設置、サンプル袋詰め、パネル展示準備</p> <p>10:00 日本栄養士会実施概要（サンプル無くなり次第終了）</p> <p>サンプル商品＋紹介カード＋パンフレット配布 250個</p> <p>「あなたは知ってる？こんなところにいる管理栄養士・栄養士！」</p> <p>来場者に職域別の仕事紹介ポスターを見てもらい、「知ってる」「知らない」シートにシールを貼って参加してもらう。ここでどんなことをしているか説明した。</p>
イベントを通じて得られた甲賀	栄養士、管理栄養士の仕事や職場 アピールできた
エピソード （対 対象者）	シールというツールを使ったことで、子どもが楽しく参加でき、家族づれも足を止めて参加してもらえた。幅広い世代を対象に説明ができた。
エピソード （対 主催側）	このイベントが真夏の暑い時期に開催となるので、ヨーグルト等の温度・衛生管理にはかなり注意を払う必要があったが、対象者には喜んでもらえた。
次期実施者へのメッセージ	開催場所を道の駅としたことで、集客に苦勞することなく、普段は食生活に関心が無い一般の人を対象にできたので、後も開催場所の候補地として検討して欲しい。
所属職域	島根県栄養士会全職域及び出雲地区会

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	テーマ：埼玉県民のみなさんの「栄養を楽しむ」生活を応援する
実施日・時間	2018年8月4日 10:00～13:00
実施場所	埼玉県栄養士会会議室
対象者	地域住民（主にさいたま市）
対象者数	16人
主催者人数	管理栄養 7人
事前準備	展示・試食、骨密度測定、栄養相談、紙芝居・エプロンシアター・風船ヨーヨーの設置場所について、来場者の流れ等を考慮して設置した。また、ヨーグルトや市販のソフト食を試食するためのコーナーを設けた（机と椅子を準備）。
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input checked="" type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> その他（ ））
当日の流れ	<p>10時開始予定であったが、参加者が早く来られたため、9時30分に開始した。</p> <p>主な流れ            展示（ポスターや市販の介護食、水分補給ゼリー等）説明 ⇒ 試食（ヨーグルト、ソフト食）⇒ 骨密度測定 ⇒ 栄養相談 ⇒ 紙芝居・エプロンシアター ⇒ パンフレット・試供品配布            来場した参加者に合わせて、各イベントを実施した。</p>
イベントを通じて得られた効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方に埼玉県栄養士会事務所の場所、活動を知っていただく機会となった。埼玉県栄養士会栄養ケア・ステーションで実施している市民健康栄養講座への参加を希望する方もいた。今後、さらに、地域の方へ広がることが期待できる。</li> <li>・学生が主催側で参加をし、紙芝居・エプロンシアター、展示の説明等を行い、地域の高齢者の方とふれあうことができた。学生のモチベーションが高まった。</li> </ul>
エピソード （対 対象者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に周知していたため、栄養相談を目的に来場した方の中には、検査データを持参した方もいた。食生活について深く話をすることができた。</li> <li>・学生：エプロンシアターは、参加者の方に喜んでいただけた。子ども向けの媒体であったため、フレイルやロコモ予防を意識して話をした。試食を通して、現在介護を行っている人、以前行っていた人と話をすることができ、高齢者の現状が理解できた。試食があることで、参加者と気軽に話げできた。</li> </ul>
エピソード （対 主催側）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学生：管理栄養士の方とも話をすることができた。また、管理栄養士の方と参加者の方との会話を聞くことができ、話し方や接し方を学ぶことができた。</li> </ul> <p>風船ヨーヨーを膨らませるのに苦労したが、子どもの参加がなかったため、実施してもらえず、残念だった。</p>
次期実施者へのメッセージ	<p>準備をして実施するからには、多くの人に参加してもらいたいと思うが、参加者が少ない場合は一人ひとりと話す時間が持て、より身近に感じてもらうことができる。</p> <p>学生の意見：廊下が暗いので、可能であれば、明るい方がいい。            浦和パルコのコミュニティセンターも利用するといいいのではないかな。違った年代の人にも伝えることができると思う。</p>

「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【健康づくり栄養講座】
実施日・時間	2018年8月5日
実施場所	千葉県立保健医療大学
対象者	千葉県民
対象者数	49人
主催者人数	管理栄養士 人 / 栄養士 人
事前準備	商品サンプルの受け取りと保存
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資材の活用 ( <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ ) <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成 ( <input type="checkbox"/> ポスター <input checked="" type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他 (千葉県栄養士会ホームページ) )
当日の流れ	12:30 受付 13:00 開会あいさつ サンプル商品の試食 13:10 講演 1 14:10 講演 2 15:10 講演 3
イベントを通じて得られた効果	たんぱく質摂取の大切さを知らせることができた。
エピソード (対 主催側)	千葉県の健康づくり栄養講座とコラボして実施した。 運動、栄養、休養の大切さを周知する目的の公開講座であったので、効果的なイベントとなった。



「栄養ワンダー2018」実施報告

イベント名	【食育実践セミナー】 テーマ：「栄養の日」記念セミナー ～いただきます・ごちそうさま、言えますか～
実施日・時間	2018年8月7日 13:30～15:00
実施場所	アクロス福岡 セミナー室
対象者	福岡県民（一般対象）
対象者数	43人
主催者人数	管理栄養士 1人／栄養士 1人
周知方法	<input type="checkbox"/> 栄養士会提供資料の活用（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> ホームページ） <input type="checkbox"/> 自施設のホームページ <input type="checkbox"/> 独自に作成（ <input type="checkbox"/> ポスター <input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> その他（新聞掲載））
当日の流れ	13:30 受付開始 受付時に配布 14:00「栄養の日」記念セミナー テーマ：～いただきます・ごちそうさま、言えますか～ 講師：公益社団法人福岡県栄養士会 副会長 田中 粹子
イベントを通じて得られた効果	「栄養の日」「栄養週間」の意識付けができた。
エピソード（対 対象者）	みんな、配布物を喜んで食べていた。
イベント後の新たな取り組み	福岡県栄養士会改善学会誌に「ロゴ」を掲載した。